



## “One Fish, Two Fish, Three Fish”

この3モデルは80年代にハモサビーチの路地裏にあるゴミ溜めに捨てられていたような\*Rick Surfboardsからインスピレーションを受けデザインされています。ノーズ幅やアウトラインはRick Surfboardsのオリジナルに忠実に再現。テール、フィン、レールやロッカーは現代のサーフィンに要求される動きに対応するためにアレンジされています。ゴミ箱からのインスピレーション、あなたはどう受け止めますか？



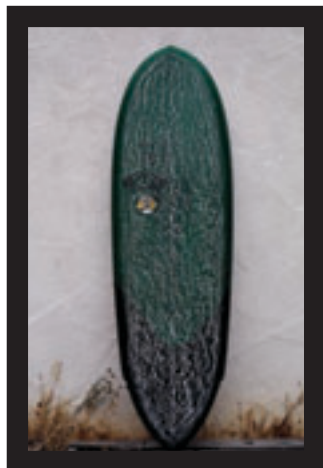
### Standard Fish

フィッシュという言葉が巷にあふれる昨今、その意味やデザインも現代のトレンドに合うようにアレンジされてしまい、“Fish”本来のコンセプトが、失われているように感じる。元来Fishという言葉は、より速く、そしてより前衛的なサーフィンを可能にするために生み出されたサーフボードというコンセプトのもとに、名付けられたものである。特にStandard Fishは、ハイスピード域のコントロール性をより高めるために、コントロールスポットを、板の前方向に設定している。基本的には、オールラウンド用としているが、Standard Fishのポテンシャルは、想像しがたい。因みに自分は、フロリダの膝並みから、10ftのパイプまで、Standard Fish一つでこなしている。

---

Recommended size Range

Length 4.11ft-6.4ft.



### Twin Pin

Standard Fishが最速を誇るモデルならば、マニューバビリティー（ターンのし易さ）という点では、Twin Pinが最適である。過去22年間に渡り、フィッシュのデザインを研究・試乗し続け、いくつかの結論に達し、それを形にする事が出来た。Twin Pinを言葉で表現するならば、トップターン時に自分のラインを修正する事なく、すんなりと自分の思うラインへ板を運べるそんな自由を与えてくれるモデルだ。

---

Recommended size Range

Length 4.11ft-6.4ft.



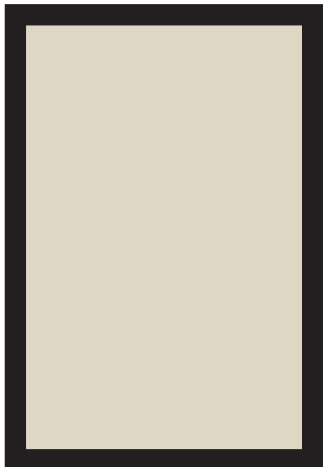
### Diamond tail pin

ダイヤモンドテールというテールデザインは、これまで自分が乗ってきた、様々なスタイルの板に使われてきた信頼のおける、ネガティブな要素がまったくないデザインといえよう。ロングボードからショートボード、そして今回はフィッシュへ。ダイヤモンドテールとフィッシュの融合は、自分にまた、新たな可能性をもたらしてくれた。

---

Recommended size Range

Length 4.11ft-6.4ft.



## The floating sidewalk

The floating sidewalkは言うまでもなく、David Nuuhiwaのノーズライダーから影響を受けている。The floating sidewalkと共に15年間のコンテスト生活を続け、この板に改良を加え、更に最適なThe floating sidewalkに作り変える事が、実現出来た。まずレールデザインを若干変更し、そしてコンケープのアレンジを少し変えた。大幅な変更と言えば、板の幅とテール形状であろう。この部分の改良により、よりオールラウンドで、“乗り易さ”を追求する事が出来た。The floating sidewalkが、過去の栄光のような呼ばれ方をされるような事は、今後ないであろう。

---

Recommended size Range

Length 9ft-10ft.

KOOKBOX



## Where were you in 1982

少年の頃の出来事は、曖昧な記憶のものが多いが、やけに鮮明に脳裏から離れないものもある。80年代、ロングボードに夢中だった少年の頃の自分は、今日では忘れ去られた板のデザインのディテールまでを鮮明に憶えている。当時はロングボードの明確なスタンダード等はなく、ただ自分の身長より3ft長ければロングボードと呼ばれていた。例えば身長が5.5ftであれば、彼のロングボードは8.5ftといった感じだ。ここにロングに関して二つの覚え書きがある。

- 其の1 ポートの様にやたらと大きいノーズライダーと呼ばれる板に乗って、ノーズライディングをすると、頻りに板の上を歩き回らなくてはならない。ノーズライディングは、何もそこまで大きい板でなくとも出来る。ノーズライダーを1~2ft短くすれば、ノーズライド出来るだけでなく、あの“ポート”のような板が、ターン出来なかったようなところでもターンが出来るようになるのだ。その結果、様々なコンディションに対応出来るようになる。
- 其の2 ロングボードというものは、今日の旅客航空事情に適していない。最近では、また新たに追加料金や色々なルールも付け加わり尚更だ。最近では9ft以上の荷物をチェックインさせないと言った航空会社もある。という事で板、とバッグは小さい方が良いでしょう。



## Diamond tail mini

Diamond tail miniは自分の気に入っているノーズライダーをギュッと濃縮したという表現がぴったりと当てはまるだろう。小さめのボードケース、燃費の良い小型車、ニューヨークのアパートや路地裏の小道そして地下鉄、場所を選ばないコンパクトなサイズに次世代のボードデザインを感じる事が出来る。

---

Recommended size Range

Length. 7.00ft-8.10ft.



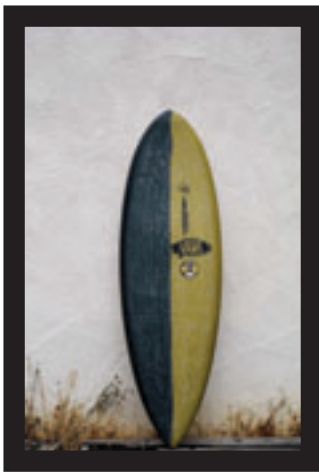
## The mini pig

兄弟分のDiamond Tail Mini 同様 The Mini Pigもコンパクトに出来ている。 Diamond Tail Mini との大きな違いはワイドポイントが板のセンターから後方に押し出されている事であろう。 そのため、ノーズのアウトラインは細めになり、掘れた波やセクションへのアプローチがし易くなっている。

---

**Recommended size Range**

**Length 7.00ft-8.8ft**



## Tube Bullet

ハイレベルなサーフボードとは？ Tube Bulletの事である。 まさにサーフボードの黒帯である。 Tube Bulletは、ニューポートの2ftの波や、マリブのムネ〜カタの緊張感のない波のためにはデザインされていない。 Tube Bulletは、真のチューブライディングを経験するために考えられた、ハイレベルサーフィン用の板である。 フィッシュスタイルのアウトラインに、ボンザーの流れを汲むロッカーデザインと、フィンシステムの高レベルのハイブリッドが、Tube Bulletである。 Tube Bulletのコンセプトは、シーズン終わりのハワイで1ヶ月ほど続いた6〜10ftのウェストスウェル炸裂のパイプラインで、小さいサーフボードの可能性を追求しているうちに生まれ、そして形する事が出来た。

---

**Recommended size Range**

**Length 5ft-6.4ft**



## Golden Seven O

Golden Seven Oについてのストーリーは語り尽くせないが、やはり、乗ってみる事が一番だろう。 世間では、シングルフィンvsトライフィンの様な話題が取り沙汰されているが、回転性でいえばもちろん、トライフィンであろう。しかし、シングルフィンにはホールド性がある。 個人的な意見ではあるが、シングルの方がいろいろな面で優れていると思う。 思いつくりのコンディションで、Golden Seven Oをテストした結果、いつもポジティブで納得のいくものになった。 ワイドポイントは板のセンターから9inも上(驚きだが...)、幅20inできわめてテーバーなレール、そしてVボトムといったレシピだ。 どうぞお試しを。

---

**Recommended size Range**

**Length 6ft-7ft.**



## Uncle bill

自分のミドルレンジの板のほとんどは、ナット・ヤングとウェイン・リンチのデザイン。特に1967年から1971年にかけて作られた板に大きな影響を受けている。

彼等のボードデザインやライディングのスタイルは、オリジナリティーに溢れていて賞賛に値する。その変哲きわまりなく、それでいて美しくまとまったアウトラインは、目を見張るものがある。Uncle Billは、その当時のデザインの流れを汲み、現代風なアレンジでまとめたモデルである。そして、このモデルを第1号とし、追従するモデルを作り続けていく予定である。

彼等の偉功を、現代に引き継ぐ努力をしてゆこうと思う。

---

**Recommended size Range**

**Length 6.6ft - 7.10ft.**



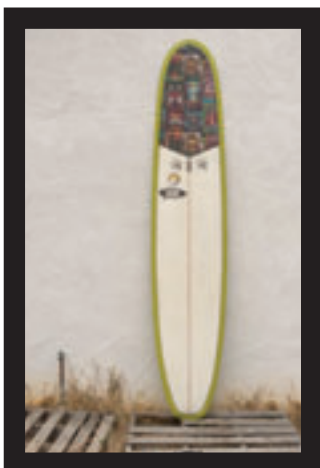
## 88

“ハイパフォーマンスロングボード” 自分はこの言葉が、ヘッドが出るほど嫌いだ。 ああいった板に乗るくらいだったら、海のないアイダホにでも引越した方がましだとすら思う。だが最近、その類いの板の中に、プラスの要素を発見出来る様になった。イスラエル・バスコウィッツやリース・パターソンは、新旧程よく混ざった板を使っていた。彼らの板の特徴は、エッグを9.2ftにのばした様なアウトラインに、コンケーブに軽めのVボトム、そして、押さえ気味のロッカーのシングルフィンであった。88は、この2人が乗っていたモデルを元に、自分なりのアレンジを加えた、ハイパフォーマンスロングボードに仕上がっている。ちなみに自分は、2004年のワールドタイトルを、88で勝ち取る事が出来たので、その性能が申し分なくハイパフォーマンスだといえるであろう。

---

**Recommended size Range**

**Length 8.6ft - 9.6ft.**



## Son of Sam

自分は14才から19才まで、ナット・ヤングのボードキャディーを努めさせてもらった。そうしている間に、いろいろな質問もさせてもらい、その時彼のマジックボードの一つ、“Sam”についても聞く事が出来た。彼はこの板で、1966年のワールドタイトルを獲っている。この板は、ショートボードレボリューションとしても知られている。そしてこの板は、いくつかのコピーを残して、世の中からは消え去っていた。そして90年代後半のオーストラリアトリップの際に、再びこの板に出会い、即座に自分の持っていた板と交換してもらった。すばらしい板であったが、現代のサーフィンに対応するには少し改良するべき点があった。まずメズテール幅を少し変え、ノーズをアップノーズに変更した。さらにVボトムを強調し、ロールも強めた。Son of Samは、ナット・ヤングのSamの盗作等ではなく、彼のオリジナルの流れを汲み、彼にも誇りに思ってもらえる様な、次世代のSamを作り上げたと自負している。

---

**Recommended size Range**

**Lengths 9ft - 9.10ft.**